

弘法大師 空海の生涯

誕生まで

大暦九年(七七四)、長安の大興善寺の一室で、密教第四祖・不空は死の床にいました。不空は恵果を呼び、「恵果よ、わしの命はもう絶える。そなたには、金剛界・胎藏界両部の秘法を伝えた。だが、この密教は、唐ではやがて滅ぶであろう。わしは東の国へ密教を伝えたい。わしの命は東の国へと移り、そなたと再びめぐり合い、そなたの弟子となるであろう」といい残して、翌日未明、こと切れました。

不空の内証は、ただちに大日如来(宇宙の生命そのものを表す仏)に引き継がれました。そして大日如来は東の小さな島国、日本の国中を見渡し、讃岐の国に住む佐伯氏の夫人、玉依に白羽の矢を立てたのです。不空の命が終わった日の未明に、弘法大師空海は、現在の香川県善通寺で誕生したのです。

大学を中退する

大師は七歳のとき、「私がもしも将来、世のためになる人間ならば、助けたまえ!」と、切りたつた断崖から飛んだことがあるといいます。もちろん、大日如来は見逃すわけがありません。たちまち天女の姿になって、大師を受け止めました。

聡明だった大師は、延暦七年(七八八)、十五歳で長岡京へ上京して漢学を学んだ後、十八歳になって大学へ入りました。

当時の大学は、高級官吏の師弟のための官吏養成学校で、儒教の講義が中心でした。大師は優秀な学生でしたが、そうしたエリートコースをたどることで得られるような将来には疑問をもっていました。その反面、仏道への思慕はますます募る一方であったといえます。そして、大学を中退し、一介の乞食坊主となって山野をさまよいました。唐へ渡るまで

あるとき、一人の修行僧から「虚空蔵求

聞持法」を伝授され、これが大師の将来を決定しました。大師はこの秘法を、四国の太龍嶽や室戸岬の洞穴で修法しつづけ、生きる方向を悟ったのです。

大師は三男でしたが、二人の兄がつづいて死んだので、叔父や親戚は「出家の心を改めて、早く忠孝の道に戻れ!」と迫りましたが、大師は「三教指帰」という戯曲を書いて、自分の意志表明をしました。これは出家の宣言書でもあったのです。

そして延暦十二年(七九三)、榎尾山寺で勤操大徳から得度を受け、ついに出家します。乞食坊主になってからは、独学で仏教の研究に励んでいましたが、当時の主流であった南都仏教では納得できませんでした。

大いに悩んだ末、東大寺の大日如来に二十一日の願をかけます。満願の日に、夢の中で不空の霊が「久米寺の東塔の下へ行け!」と声をかけてきたのです。大師は、そこで密教の根本聖典である「大日経」を発

見しました。

さつそく、むさぼるように読みましたが、どうしても意味不明の文字が各所にあります。それは古代インドの言葉「梵語」で書かれたもので、誰に聞いても解説できません。「これは、どうしても唐へ行かねばならぬ」大師は、そう決心しました。このとき大師、二十四歳。唐留学するのは、今でいうと宇宙へロケットを打ち上げるようなものです。一介の乞食坊主に、そんな金はありません。しかし、思いがけず道が開けたのであります。

東大寺の大仏を建立していた当時、中国から多くの鉱山師が来ていました。大仏に金箔を張るには大量の水銀が必要です。水銀のことを丹といいます。この丹は辰砂からとりまします。鉱山師は辰砂を求めて日本中の山を歩き回っていたのです。

高野山のふもとに天野という村がありました。そこに辰砂があることを発見した鉱山師たちは、天野に住みつき、丹を生産しました。いまもそこは「丹生」と呼ばれています。近畿一円から四国の山々を歩き回っていた大師は、やがてこの鉱山師たちとめぐり合ったのです。あるとき、鉱山師は、

奈良仏教の随落を嘆いていました。そこへ現れた大師が、唐へ密教を学びに行く覚悟を示しますと、大師をひと目見た鉱山師は、「よし。わたしが留学の費用を全部出して、中国語も教えてあげよう。」と言ってくれました。こうして、大師は唐へ渡る準備を整えたのであります。

唐へ渡り、恵果和尚に師事する

延暦二十三年(八〇四)、大師を乗せた船は、途中、暴風雨に遭い難破しかけたが、なんとか福州にたどり着きました。ところが、ボロボロの遣唐使船を見た役人は、海賊と間違えて上陸させなかつたのです。

大師は、福州の役人に宛て手紙を書きました。それを読んだ役人は、大師の書と文と語学の才能に感動し、大師は上陸を許されたのです。

長安に入った大師は昼夜の別なく勉強にげみましました。インド僧の般若三蔵を探し当てて梵語を学び、唐代一の



高僧、恵果和尚との出会いに備えました。延暦二十四年(八〇五)大師は青龍寺に

恵果和尚を訪ねました。恵果は、大師の訪問を歓迎し、大師は密教の後継者に就くことになりました。

大師はわずか二か月の間に、金・胎西部の伝法灌頂を受けました。しかし密教は、法具や儀式に金がかかります。大師は二十分間の学費を二年間ですべてつぎ込んだのです。

その年の末、恵果和尚は大師に「師僧と弟子の関係は永遠である。そなたは早く日本に帰って密教を広めよ。わしは先に日本へ行き、そなたの弟子になろう。」と言って臨終を迎えました。

帰朝後の大師の活躍

大師は弘仁三年(八二二)、高雄山寺で伝教大師最澄と、その弟子たち百数十名に結縁灌頂(在家の者が仏と縁を結ぶ儀式)を受けました。そのときに大師が灌頂を受けた人の名を連ね記録した『灌頂曆名』や、最澄に宛てて書いた書簡『風信帖』は国宝となっています。

さらに弘仁六年(八一五)、大師は、若い頃修行の行脚をした四国の各地を回り、八十八カ寺を『五転修行』の道場としました。まず阿波(徳島)を「発心(菩提心を発す

位)の道場。それから右回りに土佐(高知)を『修行(三密の修行をする位)の道場』伊予(愛媛)を『菩提(修行によって果徳を得る位)の道場』讃岐(香川)を『涅槃(果徳を得た上に、本不生の道理を悟る位)の道場』とし、これで四国を終わります。

それから淡路を通って紀州(和歌山)へ渡り、高野山へ登ります。ここを五転最後の「究竟(果徳が円熟した総徳)の地」と定めたのです。この四国八十八カ所の札所霊場を巡礼するものは「お遍路さん」と呼ばれ、今も多くの人が訪れています。

唐にいた時代から大師の心に芽生えていた五転修行の道場の構想を実現すべく、大師は、弘仁七年(八一六)嵯峨天皇に高野山を賜らんことを請い、勅許が下りました。また五転修行の道理からいえば、高野山を最終究竟の地と定めたのも、もつともなことです。



この年、二十三年前に大師へ得度を授けた勤操大徳が、今度は逆に大師から金胎両部の伝法灌頂を受けました。お互いに感

慨無量であったことでしょう。

弘仁十年(八一九)頃には高野山で、『文鏡秘府論』、『文筆眼心抄』、『即身成仏義』や『声字実相義』などを著しています。

弘仁十二年(八二二)の大きな業績は、讃岐の満濃池の修築であります。農民たちや朝廷の要請にこたえ、アーチ形土木工法により、日本一の溜池を完成させました。

弘仁十三年(八二二)から十四年にかけて、勅命により東大寺に「真言院」という灌頂道場を建てました。そればかりか平城上皇が出家されるや、すぐに灌頂を授けたのです。これは、前代未聞のことです。

弘仁十四年(八二三)に嵯峨天皇は、東寺を真言宗の根本道場として大師に賜りました。この年、大師は五十歳の時です。

さらに、天長五年(八二八)に東寺に五重塔を建立し、教育の機会均等を提唱する大師は、日本最初の庶民教育のための学校「綜芸種智院」を開設しました。現在の「種智院大学」は小さな仏教大学ですが、いまに種智院の名を残しています。

天長七年(八三〇)には、大師の密教哲学の真髄ともいえる『秘密曼荼羅十住心論』十巻、『秘蔵宝鑰』三巻を、淳和天皇に

上進しました。

天長九年(八三二)になり、標高千メートルに近い高野山上に、七堂伽藍が整いました。そこに「万燈万華云」を修法したのです。一節に次のようにあります。

「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、我が願いも尽きん」

人間や獣、鳥や魚など宇宙に遍在するすべての生き物が仏になれるよう祈りたいと大師は誓いを立てられたのです。

承和元年(八三四)の末、大師は、「宮中において、国家を護持し五穀が豊かに実るよう修法をさせてほしい」と上奏しました。これが認可され、翌、承和二年(八三五)から「後七日御修法」を修することになったのです。この修法は現在もなお、毎年、真言宗各本山の代表が東寺で行っています。

東寺は実恵大徳に、高雄山は真済大徳に、真言院は真雅大徳に、高野山は真然大徳に託し、三月二十一日、六十二歳の生涯を、弟子たちに見守られて入定しました。

そして、延喜二十一年(九二二)、大師が入定してから、八十七年目に、醍醐天皇から「弘法大師」の諡号が贈られたのです。

供養祭の報告

岡山地区

平成22年9月26日(日)

井原太陽霊園(井原市)

教師:高橋 妙典



平成22年10月9日(土)

第二西大寺太陽霊園(岡山市)

教師:大石 賢暎



広島地区

平成22年9月11日(土)

海田太陽霊園(安芸郡)

教師:岸野 英明



平成22年10月16日(土)

矢野太陽霊園(広島市)

教師:岸野 英明



九州地区

平成22年9月11日(土)

野口太陽霊園

教師:上原 大幸



平成22年10月9日(土)

始良太陽霊園

教師:上原 大幸



次回供養祭開催日

岡山地区

11月14日(日)金甲山太陽霊園

11月21日(日)護摩供養

12月4日(土)半田山霊苑

12月18日(土)チボリメモリアルパーク

広島地区

11月13日(土)呉二河太陽霊園

12月11日(土)安佐太陽霊園

九州地区

11月20日(土)南部太陽霊園

12月11日(土)鹿児島布教所

参加された方の感想

太陽霊園では定期的に霊園全体の供養を行う供養祭を開催しております。回を重ねるごとに参加される方も増え、様々なご意見やご感想をいただけるようになりました。会報を通じてお返事したいと思います。

感想1 供養祭の案内ハガキを貰ったが、もう少し早く届くようにして欲しい。

【事務局より】 ありがとうございます。供養祭のご案内ハガキは開催日の2週間前を

目安に発送しておりますが、もう少し早くご案内する事も検討いたします。

また、他にも開催日の2週間前には霊園に告知の看板を設置しております。会報でも2ヶ月間の開催予定を掲載していますので、参考になさってください。確認は岡山本部事務局までお問い合わせ下さい。

感想2 供養祭で初めて般若心経を唱えてから、仏壇の前で毎日唱えるようになりました。

【事務局より】 ご先祖様もきっとお喜びになっていと思います。私も供養祭を開催して良かったと実感できる瞬間です。これか p@y.mh らもぜひ習慣になさってください。

感想3 供養祭があるとは思っていませんでした。定期的に開催されるのであれば帰省できない場合でも安心です。

【事務局より】 各霊園で年に1〜2回の開催を予定しております。次回もご都合が合えばぜひご参加下さい。当霊園では募参代行サービスも承っておりますので、ぜひご利用ください。

小噺

喜六 「この前うさぎを見に旅行へ行ったんだけどよ。」

清八 「へえ、どこへ行ったんだい？」

喜六 「それがだな、大分に行つたつもりがアメリカについてしまったんだよ。」

清八 「なんで大分にアメリカがあるんだよ？ 訳わかんねえよ。」

喜六 「俺だつてさっぱりわからんよ。ウサギはいねえし、アメリカだし変な所だったなあ。なんか駅の看板にUSA について書いてあったんだよ。」

清八 「駅の看板にUSA について…もしかして宇佐じゃねえのか？」

喜六 「あゝ、ありや宇佐つて言うのかい。てつきりアメリカとはかり思つてたよ。」



大分県に宇佐という駅は実在します。もちろんアメリカではありません。

質問コーナー

お客様から寄せられた質問にお答えします。ただ、様々な宗派により考え方が違う場合もありますので、これ以外の考え方が間違っているというわけではありません。参考になさってください。

質問1 墓地を清めるために塩を撒いていましたが、良くないことだと聞きました。してはいけないのでしょうか？

【事務局からの回答】

良くないというのは、墓石に塩が着いた時に、化学変化を起こし墓石が変色したり、ボロボロになる可能性がある為かと思われるます。雑草が生えるのを防ぐために土の部分に塩を撒かれている方もいらっしゃるようですが、石にはかからない様にご注意ください。

質問2 今年、親が亡くなりました。喪中ですので神社へお参りできないと思います。が、どうすれば良いですか？

【事務局からの回答】

神社は神道という宗教で神様を祭っている場所です。神道の神様は穢れ(けがれ)を嫌います。神道において死は穢れの一つと

されており、喪中の人は穢れていると考えられます。したがって穢れを嫌う神様が祭られている神社へお参りに行くのは控えた方が良くとされています。どうしても神社へ入る必要があるときは鳥居をくぐらずに脇を抜けて境内へ入るという方法もあります。期間に関しては地方やお参りする神社によつて違うようです。50日や100日、1年とも言われていますので、神社に問い合わせられるのが良いでしょう。

【事務局からの回答】

お経とはお釈迦様が弟子に伝えられた言葉を、何世紀に渡つても口頭で伝えられてきたものです。文字に起こされてからも何世紀も経っているの

で現代語に訳さないと

私たちはなかなか理解できないでしょう。

次回の会報で「般若心経の現代語訳」を掲載しますのでぜひお読みください。



コラム

先日、霊園の清掃に行っていた日のことです。

津高中央墓苑から半田山霊苑へ抜ける山道の途中に高

校の野球部の練習場があります。そこを車で通過したときに、道を歩いていた野球部員の行列とすれ違いました。先頭の男の子が立ち止まって帽子を脱ぎ、「こんにちは！」と大きな声であいさつをしてくれました。そして、「こんにちは！」と大きな声であいさつをしてくれました。そして、「こんにちは！」と大きな声であいさつをしてくれました。

最近そういった素直な若者に会わなかったのも、不意に訪れた出来事に心が暖かくなりました。

近頃は、若者に関する嫌なニュースも多いですが、世の中まだまだ捨てたものではないと思わせてくれる、気持ちの良い出来事でした。



大掃除とすす払い

正月の準備は、まず大掃除から始まります。年末の大掃除は暮れも押し迫ってからの家庭がほとんどですが、昔の大掃除「すす払い」は12月13日と決められていました。



また、この日はお正月の準備を始める「事始め」の日でもあるので、まず、大掃除をし、お正月の準備をします。

神事としての「すす払い」

「すす払い」は、単なる大掃除ではなく、歳神様を祭る準備という宗教的意義を持っていました。「すす払い」では竹竿の先にわらをくくりつけた「すす梵天」という道具が使われ、使用後は戸外に立ててそのまま飾っておいたりする地方もあり、正月が終わると正月飾りと一緒に焼きます。また、すす払いが終わると、お神酒や「すす取り団子」を供えたり、一家で餅や雑炊を食べる風習もありました。

家中を一日で掃除しようとしても大変なので、13日頃からゆつくりと始めるような気持ちでやりましょう。今日は台所、明日は寝室という具合に計画を立てるとはかどるでしょう。また、普段は手が回らない換気扇や、障子の張り替えなどは、担当者を決めて分担し、子供でもできるようなことは一つ仕事を与えてやらせたいものです。

お掃除の小技

ブラインドの掃除は軍手で

ブラインドのお掃除、

なかなか大変ではありませんか？あまり汚れがひどくない場合は、バケツに中性洗剤を入れて水で薄めて、滑り止めの付いていない軍手に浸して絞り、手にはめます。そのままブラインドの羽根を指ではさんだまま左右にこすると簡単に汚れが落ちます。



慣れてくると、親指以外の4本指で3枚の羽根を同時に掃除できます。洗剤で汚れを取った後の水拭きも軍手でできます。

深ちゃん節約術

今までにない暑さの夏が終わり、やっとエアコンが要らない季節になりましたね。電気が安くなるので一番好きな季節です。天ぷら油の処分は米ぬかで

古くなった天ぷら油の処分はめんどくさいですよ。新聞紙に染み込ませようとしてもこぼれたり、固める薬は便利ですけど結構高いですからね。

そこで、私は牛乳パックと米ぬかを使います。牛乳パックは飲み終わった後に開いたり潰したりせずにそのままの形で洗って置いて、米ぬかは近所のコイン精米にタダで置いてあるのをもらってきます。牛乳パックに米ぬかを入れて、油をゆつくりと注ぎます。すぐには染み込みませんが、一晩放っておくと米ぬかが油を吸い込んでボンボンになります。そうしたら牛乳パックの口をふさいで燃えるゴミとして出せます。私は他にも車のエンジンオイルの交換にも利用しています。



「当地クイズ」

前回のクイズは少し難しかったかな?と思っていました。が、かなりの方が全問正解されていてびっくりしました。



問題は全5問で「名物」「方言」「地名」「名所」「マメ知識」に関する問題です。

今回は「広島県」に関する問題です。

問題1「名物」

通称「海のミルク」とも言われる栄養豊富な貝の名前は何と申すでしょうか?

問題2「方言」

次の言葉を標準語に直してください。

「いびせい」「そびらがたつた」

問題3「地名」

次の地名の読み方をひらがなで教えてください。

① 広島市東区戸坂 ② 尾道市御調町

③ 安芸郡府中町鹿籠

問題4「名所」

世界遺産にも登録されている海の真ん中に立っている鳥居がある神社は何?

問題5「マメ知識」

広島県は手縫い針の生産が日本一である。○か×か?

以上広島県に関するクイズでした。全問正解された方には抽選で豪華景品をご用意しておりますのでご参加ください!

【応募方法】締切り:平成22年12月末日

7 0 0 0 9 7 1

岡山市北区野田4丁目14番12号
近田ビル1階

(宗) 円蔵院太陽の会
岡山事務局
クイズ係
行

・第1問の答え

↓

・第5問の答え

・今回の面白かった記事

・掲載を希望する記事

・ご意見ご感想

〒 住所

電話番号

会員番号

氏名 年齢

77号のクロスワードパズルの

解答と当選者の発表

77号の解答は「ダイシゼン」でした。沢山の応募ありがとうございました。当選者の発表

岡山市 上原様、浅口市 笠行様、安芸郡 秦様、広島市 竹島様、鹿児島市 瀬戸様、以上5名様、当選おめでとうございます!

当選者の方には忙しい朝にとっても便利なコーヒーマーカーをお送りいたしました。事務局日より

今年の名義変更や住所変更の申し込み件数が非常に増えております。現在大急ぎで処理しておりますが、お客様にはお待ちいただいている状況です。ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。できるだけ早くお手元に届けられるようにいたします。もうしばらくお待ちください。寒さが厳しくなりましたので、皆様もお体に気をつけてください。